

第1回地区懇談会（西武地区）の概要	
日 時	平成29年7月27日（木）午後7時～午後9時
場 所	西武公民館
出席委員	白杵久雄委員 開坂武委員 越山吉章委員 佐藤秀忠委員 島根雄樹委員 鈴木信義委員 染谷十三夫委員 竹田一雄委員 築地芳枝委員 宮岡里次委員 諸星昭彦委員 横山勝典委員 吉田賢紀委員
欠席委員	なし
傍聴者	6名
<p>○委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入間リバーサイド（マンション）は、世帯数が多いが、高齢化が進んでいる。建物自体も老朽化が進んでおり、今後、改修や更新を検討しなければならない時期に来ており、公共施設マネジメントには関心がある。今後、区長として、市の取組を正確に住民に周知していきたい。</li> <li>・入間市（西武地区）に住んで25年経過するが、全国的に見ても災害が少ないと感じる。</li> <li>・八坂神社の祭りについては、後世に引き継いでいきたい。引き継ぐことが自分の責務だと考える。</li> <li>・地区の交流が盛んで、仏子・野田・新光の意識の違いはあまり無いように感じる。</li> <li>・公共施設マネジメントの取組では、グラウンドなど屋外施設が対象になっていないようであるが、小中学校のグラウンド利用について連携が図れるようになるとありがたい。また、是非、学校以外のグラウンドも対象にして欲しい。</li> <li>・公民館の2階で催しがあった際、車いすでの来場者を4人がかりで運んだ。地区センター化に向けては、是非、エレベータを設置して欲しい。</li> <li>・地区センターは、（大きさの面で）既存の公民館を活用して整備できるのか疑問がある。</li> <li>・新光地区の児童は、西武小学校まで40～50分かけて通学している。学校の統廃合にあたり、スクールバスを運行して欲しい。</li> <li>・学校が近いために、引っ越してきた住民もいる。是非、配慮願いたい。</li> <li>・西武地区は、緑も多く、河川もある。また、旧繊維試験場も良い。住む場所としてはとても良い環境だと思う。</li> <li>・西武地区は、住環境が良い。ただし、東金子地区と結ぶ道路が一直線に抜けていない。森坂の下や元加治駅の仏子側も同様に道路が狭い。原因は、線路（踏切）だと思う。</li> <li>・公共施設マネジメントは、後ろ向きな施策だと感じる。</li> <li>・公共施設マネジメントは、将来を見据えると必要な施策だと思う。目先のことだけ</li> </ul>	

でなく、長期的な視点で公共施設のことを考えることは必要だと思う。

- ・最近のランドセルは、ノート等の大きさが、B版からA版になったこともあり、昔より一回り大きくなっている。一方、将来は、タブレット端末の発達により、学校へ通わなくなることも考えられるのではないか。公共施設の整備は、こうした点にも配慮して進めるべきではないか。
- ・西武中学校では、ぎりぎりの人数で、1学年に2学級となっている。少人数の学校の場合、部活動の選択肢が少ない。
- ・学校を統廃合した場合の交通手段の確保は、小学校だけでなく、中学校にも言える。
- ・仏子小学校、西武中学校は児童・生徒数が減少し、以前より寂しくなっているが、統廃合には様々な問題もあると思う。
- ・学校を現在の場所以外に建設する余地はあるのか。  
→様々な可能性として示しているものである。
- ・小中一貫校とする見通しはあるのか。  
→教育委員会の考えでは、小学生、中学生を同一の校舎で学ばせるという考えは、現在のところないと聞いている。
- ・公共施設の統廃合（統廃合しない場合）により考えられる効果を示して欲しい。  
→市が考える効果を次回以降示したい。
- ・事業計画（素案）を眺めたが、公共施設の再配置について、市が優先的に考えている配置案はあるのか。また、地区懇談会での意見は、どのように反映されるのか。  
→再配置案として固まったものはないが、メリット・デメリットを踏まえ、案として提示することはできる。また、懇談会での意見については、公共施設マネジメントの考え方と照らし、反映していきたい。

第2回地区懇談会（西武地区）の概要	
日 時	平成29年8月22日（火）午後7時～午後9時
場 所	西武公民館
出席委員	白杵久雄委員 開坂武委員 越山吉章委員 佐藤秀忠委員 島根雄樹委員 鈴木信義委員 染谷十三夫委員 竹田一雄委員 築地芳枝委員 宮岡里次委員 諸星昭彦委員 横山勝典委員 吉田賢紀委員
欠席委員	なし
傍聴者	9名
<p>○委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の高齢化が進んでいるとの説明があったが、空き家となった場合は、若い世代に入れ替わるのではないかと。将来人口の推移は、ある程度正確なものなのか。</li> <li>→人口推計については、過去5年間の動向を踏まえて、コーホート法により算出している。この手法は、一般的な算出法である。</li> <li>・西武地区は、入間川を境に仏子地区と野田・新光地区に分かれており、両地区を結ぶのは、上橋と中橋しかない。統廃合により、いずれか片方に施設を配置するのであれば、まず、道路などのインフラを整備する必要がある。交通量が多く歩道のない幹線市道や幅員の狭い踏切などの問題がある。児童・生徒や高齢者が安全に通れるようにすることが先ではないか。</li> <li>・公共施設の再整備、再配置の問題も重要であるが、人口増加を考えることが先ではないか。また、合わせて産業振興も図る必要がある。</li> <li>・市が保有する公共施設をこのまま全て維持しようとする、1年間に47億円かかると聞く。単純にこれを人口で割ると、全世代から3万円程度徴収しなければならない。このことを踏まえて議論するべきである。</li> <li>・西武公民館の稼働率は、どのように出しているのか。実際は、もっと利用されているように感じる。</li> <li>→各公民館では、部屋ごとに稼働率がだいぶ違う。一般的に大会議室や洋室は高くても、調理室や和室は低い傾向にある。これら全てを合計して出したものである。</li> <li>・学校の統廃合をすることで、学校名はどうなるのか。例えば、野田中学校を西武中学校にすることはできるのか。</li> <li>→地域での話し合いを含め、考慮すべき事項と考える。</li> <li>・今後の人口減少を考え、今後、1年間に47億円かかる公共施設の維持管理・更新費をどのように解決していくかが問われている。このことを考えると学校の統廃合はやむを得ないのではないかと。統廃合により、1学年1学級が解消され、学級数が増えたことにより、児童・生徒の競争が図れて良いのではないかと。</li> <li>・昔は、公共施設と言っても学校くらいしかなく、小学校が公民館であり、図書館で</li> </ul>	

あった。公共施設マネジメントでは、施設の多機能化を考えないのか。

→意見のとおり、小学校（中学校）及び地区センターは、複合施設としての整備を検討している。学校については、セキュリティ上の課題はあるが、全国的にも事例が増えているので参考にしていきたい。

- ・昔と違って、現代ではセキュリティは気になる場所である。犯罪などがなくなることが最も良い状態で、「人」を育てることができれば、社会も良くなる。

→事業計画は、施設配置など枠組みを設定するものである。セキュリティなど、施設に備える機能の具体化は、今後個別に行っていきたい。

- ・この計画には、「長寿命化」させることが欠落している。公共施設は、地域のシンボルであり、価値を高めて欲しい。
- ・この計画は、国（総務省）の言いなりではないか。公共サービスは、採算を考えなくて良いのではないか。また、公共施設へは歩いてアクセスできるべきだと思う。従って、公共施設は、小学校区を基準に配置を考えるべきではないか。
- ・人口が減少したら統廃合する。そうすると不便になり、別の土地に移住する。そして、地区の人口が減るといふ悪循環ではないか。
- ・学校で、1学級当たりの児童・生徒数が減れば、きめ細かい指導ができるのではないか。

→1学級あたりの児童・生徒数が減って教育環境がどう変わるのかは課題である。また、教員の配置も考慮しなければならない。なお、市が示した案では、学校は、現在の場所で統廃合する案となっているが、統廃合し、施設を建替える際、通学しやすい別の土地を取得することができれば、移転も考えられる。

- ・今後の人口推移の中に外国人の移民は考えられているのか。また、人口を増やす取組はどうなっているのか。こうした様々な取組の状況が分からないと、施設の統廃合に賛同できない。

→出生率を増やし、すぐに人口増加につなげることは難しい。これは、子どもを産む世代の女性の人数がそもそも少ないからである。市としては、人口を減らさない方法を考えている。この中には、他の地域からの移住が考えられるが、まとまった開発（宅地造成）がないと、効果は小さい。このように、人口減少を食い止めるのが精いっぱいである。

- ・市は、施設を統廃合する際の優先順位として、築年数を重んじているのか。
- ・賃貸住宅に住んでいる人の中には、様々な施策（手当など）を自治体間で比較し、自分に最も有利な場所へ移住するという考えの人もある。学校が統廃合され、遠くなれば魅力が落ちるのではないか。自分の子どもの話では、通学途中、近所のお年寄りが見守ってくれていて、話しかけてくれることが良いと言っている。こうしたことも、考慮してはどうか。

→市では、公共施設マネジメントと並行して、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

に取り組んでいる。この計画の基本目標は、①働きやすいまちをつくる、②ずっと住みたいまちをつくる、③子どもの育ちを支える、④まちの魅力を活かすということである。こうした取組を通じて、若い世代に住んでもらえる「まち」にしたい。

- ・公民館は、年配の方の利用が多い。西武公民館にはエレベータがなく、2階へ上がることが大変である。可能な限り早急に対応して欲しい。また、使いやすい公民館にして欲しい。

→各地区の懇談会でもエレベータの設置については、要望を受けている。また、使いやすい公民館として、具体的には、来館者が交流できるサロンのようなものの要望を多く聞いている。

- ・将来、飯能市（宮沢湖周辺）にムーミンをテーマにした公園ができると聞く。こう言う施設が別の自治体にできても、利用したければ、そこまで行けば良い。税収が増えれば、市民に還元すれば良いし、少ないのであれば、切り詰めるしかない。
- ・各学校には、空き教室があり、ハコとしては余っている状態である。少人数で運動会などの行事を実施しても面白くないのではないか。学校が近ければ儲けモノで、遠くても対策が講じられていれば良い。全員が良いという計画を作ることは難しいが、公共施設を上手く利用できるように頑張ってもらいたい。
- ・公共施設の配置については、市内を9つの地区に分けて検討している訳だが、大きな河川を挟んでいる地区は、西武地区以外にない。従って、他の地区とは様子が違う。道路（歩道）などのインフラ整備が不十分な中で、学校を統廃合することは、住民の賛同を得られないと思う。スクールバスの運行についても、合わせて考えるべきである。
- ・各学校区で、少年野球やサッカーなどのクラブチームが存在する。学校の統廃合による影響として考えるべきである。
- ・昔の話になるが、西武小学校から仏子小学校が分離する際は、ショックが大きかった。一緒に学んできた仲間が離れ離れになることは、子ども達にとっても影響が大きい。是非、子ども達の気持ちになって統廃合は考えて欲しい。
- ・西武地区には、「西武」というブランド名があって、自分の子どもが自ら通った西武中学校ではなく、野田中学校に行くことになった際は、悲しかった。こうした住民が持つ根本的な意識があることも考慮して欲しい。
- ・学校の統廃合はやむを得ないと思う。小学校や中学校が2校あった状態では、施設に充分なお金をかけられない。子ども達のことを思うと、学校に大勢いた方が良いと思う。ただし、通学路の問題は解決すべきである。
- ・今後、高齢者が増えるのであれば、高齢者に協力してもらった取組を考えたらどうか。一般に、新たな宅地開発が行われると、若い世代が移住してきて、その地区に低学年の児童しかいないケースを見受ける。これを高齢者が見守り、支えるというのはいかがか。

- ・少人数では、部活動の選択肢が減るということであったが、別途、スポーツ少年団を結成させた事例もある。やり方はいろいろあるのではないか。
- ・施設の再整備、再配置を検討する際は、西武地区の成立ちを考慮する必要があると思う。

第3回地区懇談会（西武地区）の概要	
日 時	平成29年9月28日（木）午後7時～午後9時
場 所	西武公民館
出席委員	白杵久雄委員 開坂武委員 佐藤秀忠委員 島根雄樹委員 鈴木信義委員 染谷十三夫委員 竹田一雄委員 築地芳枝委員 宮岡里次委員 諸星昭彦委員 横山勝典委員 吉田賢紀委員
欠席委員	越山吉章委員
傍聴者	1名
<p>○委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仏子地区は、地形的制約もあって今後の宅地開発が見込めない。このことから、人口減少を食い止められない。東京方面から引っ越してきた人の中には、学校や駅が近いからという理由の人も多いと思う。</li> <li>・ 公共施設が減ることで、住宅の財産価値が下がる懸念もあるが、市の状況を知ると、統廃合はやむを得ないと思う。</li> <li>・ 地区懇談会では様々な意見が出ているが、ソフトウェアのことまで聞き出すと、市が求めている施設の配置（ハードウェア）のことが聞けなくなってしまうのではないか。事務局案では、小学校、中学校は、入間川の北側に配置する案になっているが、この案を採用した場合、南側にある学校の跡地利用について議論し、活用を図っていくべきではないか。</li> <li>・ 公共施設の重要性（優先順位）は、施設ごとに違う。この中で、最も重要なのは、学校ではないか。学校は、毎日、児童・生徒が通い、稼働率が良い施設である。例えば、仏子小学校は、現在の人数では適正規模である。なぜ、統合となるのか。 →統廃合については、現在の数値で判断していない。約20年後の推計値を参考にしている。</li> <li>・ 市の考えでは、各地区に小学校1校、中学校1校となっているが、全体の施設面積を減らすのであれば、小学校と中学校を一緒にして、小中一貫校とするのはどうか。この方法であれば、仏子地区に1校、野田・新光地区に1校配置ができる。 →小中一貫校については、教育委員会の考えを踏まえて検討したい。なお、小学校、中学校を1つにした場合、学校の敷地が充分であるかについても検証しなければならない。現在、金子地区でも地区懇談会を行っているが、金子地区は、小学校、中学校、公民館が1箇所にとまっており良いという意見も出ている。</li> <li>・ 小中一貫校にするのは、良いアイデアだと思う。群馬県の館林市、邑楽郡明和町では、30年以上前、田畑を開発して工業団地や宅地開発を行ったが、実施前には反対者もいたようだが、現在は、周辺の田畑の所有者から、後継者がいないこともあり、是非買い取って開発して欲しいという声も出ているようだ。こうした、時代の流れも考慮すべきではないか。</li> </ul>	

→紹介いただいた事例は、市街化調整区域を市街化区域にするということではないかと考える。同じ意見が、金子地区、宮寺・二本木地区でも出ている。国や県の考えもあって、市街化区域の拡大は難しいと言われているが、まちづくりの課題として捉えていきたい。

- ・通学距離が短くなるのであれば、小中一貫校は良いと思う。
- ・学校には、様々な設備（機能）が備えられているが、有効に使われていない者もある。例えば、プールは、1年の中で、約1ヶ月しか利用されていない。校舎やグラウンドにしても、今後どのように活用すべきか検討すべきである。昔の住宅には、人寄せがあったが、間仕切りを可変にしておけば、様々な用途で使用できる。施設をトータルで考えるべきではないか。

→千葉県佐倉市では、学校のプールを廃止して、民間の温水プールを活用している。泳ぐ指導も民間委託し、専門のコーチから受けているという。こうした取組は参考にしたい。

- ・公共施設の統廃合は、地域にとって悪循環につながる。公共施設は、市民の共有財産であり、平等に使えるべきである。どこに住んでいても同じサービスが受けられるようにしなければならない。小学校区の中に、1つずつ公民館があることが望ましい。
- ・施設の統廃合は、現在構築された地域コミュニティの分断という面で、懸念がある。コミュニティ単位を変えることは難しいと思う。
- ・この地区懇談会委員の中には、バリアフリー法のことを話す人がいない。地域の意見を聞く際は、障害者団体も入れるべきではないか。
- ・市の人口動態を把握することは、とても重要だと感じる。まち・ひと・しごと創生総合戦略で、今後、西武地区がどうなっていくのか、詳しく知りたい。
- ・小学校、中学校を一緒にするという意見が出ていたが、貴重な意見だったと思う。
- ・委員の皆さんは、30年後の学校を想像したことがありますか。今後、テレビ電話が普及すれば、学校へ行かなくても済むかもしれない。しかし、学校教育で必要なのは、人づくりだと思う。学校は、施設としてこれからも必要だと思う。ただし、学校が地区センターの中にできるというのもあり得るかもしれない。
- ・第2次ベビーブーム時代に生まれた人間としては、自らが高齢者になることを考えると、老人憩いの家や公民館（地区センター）の充実が良いのではないかと考える。
- ・昔の子ども達は、家族（祖父母や父母）に抱いて育てられていた。一方、現在の子どもは、テレビに育てられているといっても過言ではない。人間形成をする上で、教育や人と人との心の接点が大事だと思う。これから30年経っても、机に向かい勉強することが大事であると誰もが思うのではないか。
- ・公共施設を見直した場合の、効果について充分検証して欲しい。

第4回地区懇談会（西武地区）の概要	
日 時	平成29年10月20日（金）午後7時～午後9時
場 所	西武公民館
出席委員	白杵久雄委員 佐藤秀忠委員 島根雄樹委員 鈴木信義委員 染谷十三夫委員 竹田一雄委員 築地芳枝委員 宮岡里次委員 諸星昭彦委員 横山勝典委員 吉田賢紀委員
欠席委員	開坂武委員 越山吉章委員
傍聴者	2名
<p>○委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校それぞれ1校に統廃合を行うことは、とても抵抗がある。できるだけ残して欲しいという住民からの強い要望も受けている。統廃合せざるを得ない場合は、小学校と中学校を統合して入間川の北側と南側に1つずつ配置して欲しい。</li> <li>・小学校、中学校の統合はやむを得ないのではないかと。また、女性が住みやすい環境を作って欲しい。女性が住みやすいまちであれば、少子高齢化の歯止めにもなるのではないかと。学校の統廃合については、統合により沢山の仲間ができるので賛成である。社会に出れば大勢の人と関わりを持つことになるので、少数でまとまる環境は好ましくはないのではないかと考える。PTAの方の中には、青森県出身で通学に3時間かかる児童もいると聞いた。この地区は街灯が少ないため、帰宅時間が遅くなり長い距離を徒歩や自転車で帰る場合、女性にとって怖いのではないかと。安全対策を怠らずしっかりお願いしたい。小中一貫校にすると、学童保育室はそれぞれに配置されるので、小学校と中学校を分けて統廃合した場合と同じような効果が得られないのではないかと。</li> <li>・統廃合は人口推計に伴ってやむを得ないと思う。ただし、通学距離が長くなるなど利便性の低下はいかかなものかと感じている。仏子地区にある広い土地（学校用地）は、売却ではなく、次世代のために残しておくべきである。小学校、中学校を統廃合する場合、9年間は同じ場所に通うことになる。スクールバスや自転車通学も考えて欲しい。</li> <li>・PTA役員の中で、複数のお母さんに聞いたところ、財政状況や人口減少に伴って施設を統廃合するのはやむを得ないだろうということであった。西武地区で学校を統廃合するとしたら、西武小学校、西武中学校であれば住民が納得するであろう。また他の意見としては、小学校は通学距離が長くなるため残し、中学校はどちらかに統廃合するのが良いのではという意見もあった。それは、現在の中学校では部活動の選択肢があまりにも少ないからである。</li> <li>・子どもの友達に狭山市の子がいるが、狭山市では、学校の統廃合により母校がなくなったことで、話に入れず寂しそうであると聞いた。このことを理由に統廃合をしないで欲しいということではなく、先程、委員の意見にもあったとおり、基本的に</li> </ul>	

は賛成である。小学校になぜ学童保育室があるのかというと、一人で帰れない児童がいるからである。また、両親が働いて一人で家にいるのは危険であるということもある。小学校を統廃合すると自宅から遠くなる児童が増え、両親の負担がより増えることになる。仏子小学校を廃校にすると、西武小学校に迎えにいかなくてはならない。そうすると仕事に支障が生じることもあるかもしれない。そうすると小学校は現在の配置とし、中学校のみ統廃合すれば良いのではないかと思う。中学校は部活動の選択肢が増え、体力もつく年齢なので統合して通学距離が長くなっても大丈夫だと思う。

・西武地区の中心に学校があればよい。例えば、小学校の位置に中学校をもってくるということや、利便性を考慮した方がよい。仏子地区は人口減少で宅地開発できる用地がなく、一方、野田地区は農地などを宅地開発して人口が増加している。そのような人口の流入も合わせて考えて欲しい。ご存知の通り、国道299号の北側は、農地が広がっている。西武小学校の児童も増えているように感じる。合わせて、人口を増やす施策を考えて欲しい。

→人口減少対策と公共施設マネジメントは合わせて考える必要がある。実際に計画が実現するのは10年後、20年後となる場合もあり、それぞれの地区の特性を考慮しなくてはならない。

・仏子小学校、西武小学校は、地区の中心に存在するので、仏子小学校に中学校を移転できたら良いのではないか。

→小学校、中学校の組み換えは考えられる。先ほどの意見で小学校はそのままでという意見もあり、そのあたりとの兼ね合いも考えなくてはいけない。

・民間の西武保育園は廃園になり、市の西武中央保育所となっているが、待機児童はいるのか。

→西武中央保育所は、平成29年4月の時点で、定員90名に対し84名が通っている。現時点では、定員内となっているが、この数値は年によって異なる。

・女性の社会進出には保育所（園）は欠かせない。また、保育の充実は人口増加にもつながる。西武地区に住めば安心して子どもを預けられる。そういう意識が地区のメリットにもなる。

→市全体としては待機児童が存在する。保育所の定員を超えていないからといって待機児童がいないとは言えない。自宅の近くになれば連れて行けないことにつながる。また、今後の課題として、各地区で低年齢児（0歳～2歳）の受け入れも要望が出ている。公立保育所には、障害のある子どもの受け入れについても求められており、こうした課題を踏まえて施設整備を行う必要がある。

・多くの住民が市外で勤めていると思う。仏子駅などを使って通勤する夫婦が多いとすれば、保育所に預けるのは大変ではないか。幼児保育にも力を入れて欲しい。

→他の地区では、駅の近くに幼児の預かり所を設置して、そこに預ければスムーズに

職場に向えるという意見も出ている。駅に近い預かり所で子どもを預け、保育所が用意したバスに乗って市内の保育所へ移動するという事例もあるようだ。公立と民間との役割ということも考え、研究していきたい。

・これからの人口推計で地区センターを作ると地区の中央ということで良いかもしれないが、仏子や新光地区の住民は通うのが大変ではないか。また、現在の施設を活用するのであれば、エレベータ等の設置が必要である。この地区は自治会が10区存在するので、公民館を活用するのは住民の願いでもある。公民館まで行くことができない方もいるため、各自治会の施設（自治会館等）を活用するという事も考えて欲しい。今後は自治会と行政の連携も必要である。なお、図書館西武分館は公民館の代わりになっていて、集会室を設置して欲しいという地元の意見もある。

・地区センター化により施設規模が大きくなるが、西武公民館の前の駐車場（河川の一部）は現在自動車が通行できる通路（通過可能）としての機能を兼ね備えている。従って、西武公民館は、駐車場を含めた敷地全体で、施設することができず、安全面で不安が残る。地区センター化には、こうした部分にも配慮願いたい。

→地区センター化では現在の公民館機能、支所機能、自治振興の支援機能、福祉の相談窓口、地域包括支援センターを入れていく。これには、地区ごとに福祉の相談窓口の拡充、現在の公民館機能の適正化検証が課題となってくる。ただし、施設規模を極端に大きくすることは考えていない。

・利用者の駐車場と通過交通が混在すると、車いすの利用者が危険にさらされないか。  
→施設だけでなく駐車場の課題として捉えたい。

・保育所も児童数が減少している。幼稚園には入れない低年齢児の受け入れを保育所が担って欲しい。こうしたことができれば、入間市の魅力が上がるのではないか。  
→保育所における低年齢児の受け入れはソフトウェアの面であるが、今後考えていかなければならない課題である。

・文化創造アトリエは、是非残してほしい

→公共施設の中でも、この施設は他の施設と扱いが違い、建物自体に歴史的価値がある。このことから、現在の形態を保ちつつ、修繕も限られた中で実施し、当面維持をしていきたいと考えている。

・文化創造アトリエは、西武地区の最も良い場所に存在するが、地区にとってもより象徴的な建物があると良い。

→歴史的価値のある建物であり、地域の方が愛着を持っていることも考慮していきたい。

・老人憩いの家は、自治会へ売却してしまうのか。

→老人憩いの家は、市内に49施設もある。従って、状況も施設ごとに異なり、老人クラブが活用している施設は、当面そのまま使用してもらおう。老人クラブが会員数の減少などにより使用しなくなった場合は、地元自治会へ活用意向を伺い移譲する

ことも考えている。いずれの団体も使用しないのであれば、廃止と考えている。個々の施設の状況を確認して対応したい。

・老人憩いの家の維持管理は今後も行政が行うのか。行政にも関わってもらって自治会が運営するというのはどうか。

→自治会へ施設を委譲すると、自治会負担で施設を維持管理することになる。高齢者の活動の場所も考えなければならないが、老人憩いの家というのではなく、施設で色々できた方がよいのではないかと考えている。

・小・中学校には、エアコンを設置してもらっているが、PTA 役員に話を聞くとエアコンよりもトイレを洋式化して欲しいという意見がある。自宅のトイレは洋式で、学校は和式であるため、学校でトイレに不便を感じる女子児童がいるということである。

→トイレの洋式化については、各地区でご指摘いただいている。まず順番を決めて変えていく計画は作っているが全校を一度に整備することは出来ないのが現状である。

・地区体育館は今まで通り使用できるということで良いのか。

→現時点で、対応を変えて欲しいという意見はもらっていない。他の地区では、小学校を残す方策の一つとして、地区センターと地区体育館を一体化する方法や、小学校の体育館を地区体育館として開放するという意見はあった。

・住民説明会はなぜ昼間に行わないのか。一番忙しい時間帯でお母さん方は出られないと言っていた。

→今後、PTA 役員に集まっていただき、説明をさせていただく機会を設定することも必要ではないかと考えている。また、集会や会合の席に職員が説明に向かうということも考えたい。

・西武地区は、昔、桑の木が多く、製糸産業が盛んである。平仙レースは世界でも有名であり、その点をアピールすれば、この地区が活性化するのではないか。飯能市のあけぼの子ども森公園は、休日、外国人が多いので、文化創造アトリエを利用してアピールしていければ、国内外から人が集まるのではないか。